

基本評価シート

様式

北海道 渡島・福島区域

(北海道渡島総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和6年度（2024年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（福島区域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	渡島総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	晴山 隆仁	担当者連絡先	0138-47-9439
捕獲実施事業者	認定を受けている	予算額（※2）	195,038,000円
		予算額の内捕獲に 要する経費（※3）	108,148,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
50頭	52頭	104%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
73万頭※ (個体数指数：東部148、北部127、中部112、南部388)	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
35,232頭(R5)	61,491頭(R5)	58,803頭(R5)

※令和5年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~22万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>エゾシカによる被害を防止するため、個体数の削減に取り組んできた結果、生息数は平成23年度の約77万頭から減少傾向にあったが、近年、全道で再び増加に転じており、令和5年度は過去最高を更新した可能性がある。また、農林業被害は令和4年度に48億円となり依然として高水準にあるほか、採食や踏み付け攪乱による表土流出や生態系への影響も懸念されている。</p> <p>さらに近年では、捕獲圧の高まりにより、鳥獣保護区などにエゾシカが逃げ込むなど捕獲困難な状況が見られる。</p> <p>このため、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な箇所において、道が計画的にエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。 <input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 <input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。 ※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年11月27日～令和7年3月17日(※委託期間)
実施区域	<p>福島地域</p> <p>[松前矢越道立自然公園、道指定岩部鳥獣保護区]</p> <p>福島町の中心部から東約3kmに位置し、太平洋に面し、海岸沿いに急崖斜面が連続している地形である。エゾシカが多く生息しており、周辺の農地に被害を及ぼしている個体の逃げ込み場所や、冬季には周辺地域から移動してきた個体の越冬地となっている。エゾシカによる樹皮剥ぎやササの食害は、近年の個体数増加に伴い深刻化しているのに加え、エゾシカに起因する交通事故が多発している。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省北海道地方環境事務所：捕獲事業における情報共有を図る。 ・北海道立総合研究機構（エネルギー・環境・地質研究所及び林業試験場）：捕獲方法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・福島町：地元関係機関、地権者等との調整や現地確認、手続き等に対する助言・協力をを行う。
事業の捕獲目標	<p>(104%達成)</p> <p>= (52 実績値) / (50 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）で撮影し、データも併せて添付する。） <input type="checkbox"/> その他（ 捕獲現場にて立会 ）</p> <p>※複数チェック可。</p>

捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。</p> <p>受託者の内部にあっては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。</p> <p>捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> 捕獲従事者数：6人 (内訳) 正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：6人

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：今年度は積雪が十分にあり、特に山間部での積雪が多い時期にエゾシカを効率的に捕獲することができたため、目標を達成できた。</p> <p>改善点：エゾシカの通る道を熟練の狩猟者が見極めてわなを設置しており、若手ハンターへのノウハウの継承が急務である。</p>
【実施期間】	<p>評価：例年、エゾシカが冬季における山間部の積雪を逃れ事業実施区域まで下りてくる傾向があるため、期間は適正と考える。</p> <p>改善点：都度、その年の積雪時期を予想して事業実施のスケジュールを構築する必要がある。</p>
【実施区域】	<p>評価：捕獲実施前に行った事前調査では、区域全体で樹皮剥ぎやササ、稚樹の食害が著しく、捕獲の必要性が高いことが確認されたため、実施区域として適切であつ</p>

	<p>たと考える。</p> <p>改善点：生息密度は依然と高いことから、本事業のノウハウを活用した捕獲事業の継続が望まれる。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：この区域では道路や民家が近いことや急崖斜面が多く、銃器、囲いわなによる手法は困難であることから、くくりわなが最も当地には適した手法と考えられる。</p> <p>改善点：従事者数が少ないのに対し、見回るくくりわなの数が多いことから、多大な労力が必要であった。実施地点を単に拡大するのではなく、エゾシカの動向を注視しつつ実施地域を変更するなど、くくりわなの設置をさらに効率的に行う必要があると考える。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価：高い捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等を得意とする団体とがコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。</p> <p>改善点：同地域で3年間実施した事業により、エゾシカの地域特性や捕獲手法のノウハウは十分に醸成されたと考えられ、これらを活用した</p>
【個体処分】	<p>評価：今年度事業では、捕獲個体の一部分をペットフードとして有効活用することができた。有効活用する鹿は、全捕獲頭数の26%を目標とし、結果63.5%だった。廃棄物の処分には今年度から稼働した減容化処理施設を活用した。</p> <p>改善点：エゾシカの処分施設の状況が従前と変化し、事前の情報収集が不十分だったため契約後に調整を要した。以降は、処分施設や有効活用施設の稼働状況は入念に確認する必要がある。</p> <p>この地域は特に有効活用事業者までの距離が長く、搬入にあたって解体も必要とするため、捕獲従事者にかかる負担が大きい。</p>
【環境配慮】	<p>評価：くくりわなによる捕獲個体の止めさしについては、騒音を発生させない方法（ナイフや電気止め刺し）を採用した。</p> <p>改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。</p>
【安全管理】	<p>評価：地域住民への事前周知、現地入口等での注意看板設置及び捕獲従事者の事前打ち合わせ等に加え、狩猟事故防止のため改めて安全確認を行うことで安全管理体制を確保した。</p> <p>改善点：今後も同様の体制を確保する必要がある。</p>
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
<p>当該地域のエゾシカは、餌として特にササを好む傾向があり、過去の検討においてもそのほかの誘因餌を無視しササを食べていたことから、誘因餌としてはササの使用が効果的とみられる。</p> <p>また、今年度は試験的に、ササと一緒に柔らかい枝の表面をナイフでささくれ立たせ食べやすくして配置したところ、一部のエゾシカが食べていた形跡があるため、ササが調達できない場合の誘因餌として使用できると考える。</p>	
4. 全体評価	

今年度は捕獲目標数の 50 頭を超える 52 頭を捕獲することができ、そのうち 63.5%をペットフードとして有効活用することができた。標準以上の積雪があった今年度において捕獲数を確保できたことから、近隣地域の積雪量に応じエゾシカが集まる地域特性を改めて確認できた。

しかし、捕獲実施地点数を増やしたことにより単純に捕獲数が増えた可能性も否定できず、地域全体で見ると警戒心の高いエゾシカが増えていると考えられる。捕獲従事者の少ない地域であるためこれ以上地点数を増やすのは得策ではなく、今後の捕獲はエゾシカの動向を注視しつつ実施地域を選定するのが得策と考える。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

市町村による許可捕獲（有害駆除）等が実施されていない箇所でも集中的に実施したことにより、生物多様性への影響の軽減、周辺地域の農林業被害及び市街地への出没を軽減させるほか、エゾシカの逃避地を作らせないことによる地域全体の捕獲効率向上を期待している。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

（２）実施結果（必須となる記録項目）

ア）捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※¹： 人日

事前調査人日数概数※²： 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 人日

項目	令和6年度 （事業年度の値）	令和5年度 （前年度の値）	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※¹： 181 人日

事前調査人日数概数※²： 3 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 178 人日

項目	令和6年度 （事業年度の値）	令和5年度 （前年度の値）	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	2400 基日	2496 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ）捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 （事業年度の値）	令和5年度 （前年度の値）	増減の傾向
----	-------------------	------------------	-------

①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	52 頭	21 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.58	0.52	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.40	0.81	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	52 頭	2400 基日	0.02 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 5 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 33 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。また、捕獲個体の尾を採取し、個体数確認を行っている。

捕獲した個体の処理については、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

○実施計画位置図

【位置図】

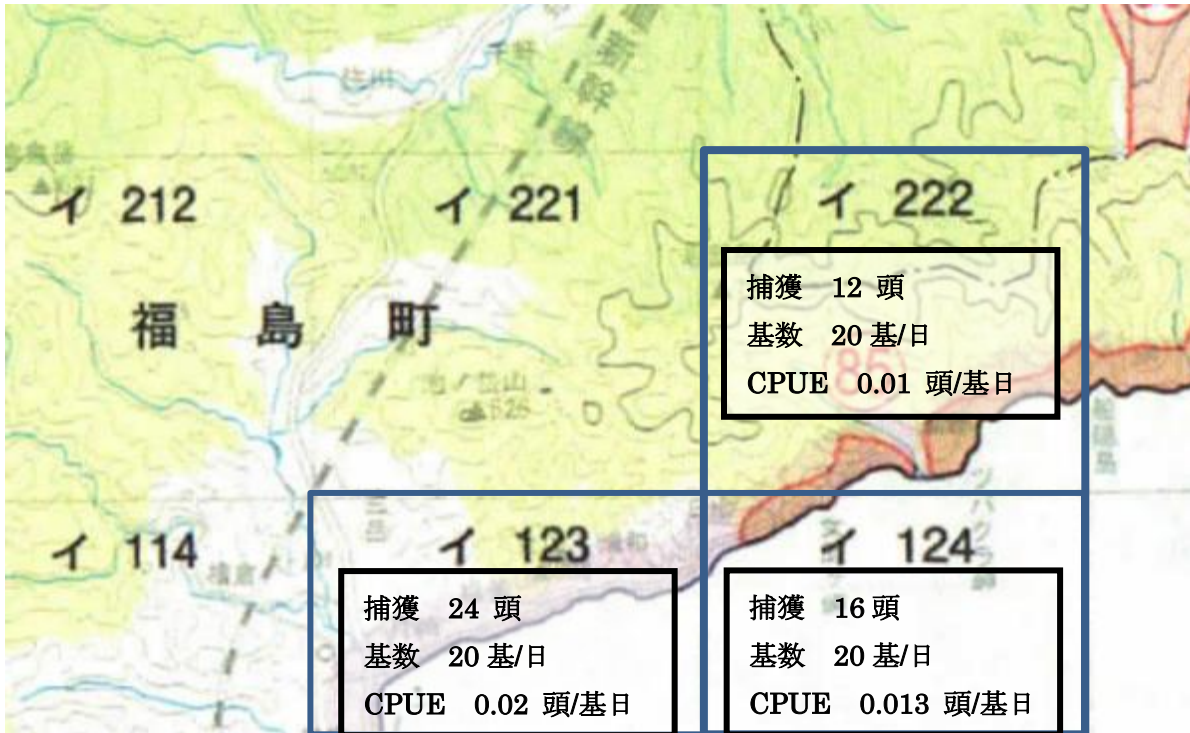


【区域図】



○捕獲に関する概況地図

福島地域



※わなかけ日数は全て 60 日

イ 2 2 2 (岩部地区)、イ 1 2 4 (日出地区)、イ 1 2 3 (浦和地区)